

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	三輪野山地区総合治水対策事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	03	03	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	河川課			
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三輪野山地区の市民	意図	三輪野山地区の雨水排水状況を調査、検討し、浸水被害を軽減する。
事業内容	三輪野山地区で、千葉県事業の（仮称）三郷・流山橋建設と併せ、和田堀都市下水路の改修工事、及び放流先河川の管理者である国土交通省と千葉県と協議を行うものである。また、水位監視装置システムの維持管理を行うものである。			
事業開始から現在までの状況変化	三輪野山地区は、和田堀都市下水路及び三輪野山雨水幹線が整備されているが、台風等の大雨時には、道路や家屋への浸水被害が発生している。浸水対策として、水位監視システムの構築や和田堀都市下水路のかさ上げを実施している。和田堀都市下水路の改修工事を平成30・31年の継続事業で実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	降雨時に、和田堀都市下水路の水位を継続的に監視することで、効率的な水防活動を行い、水害リスクを軽減することが可能となる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 和田堀都市下水路の改修工事を平成30・31年の継続事業で工事を発注した。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,015,000	17,720,000	39,857,698			
事業費(b)(円)		6,642,000	14,364,000	35,243,298			
うち一般財源		6,642,000	14,364,000	35,243,298			
職員給与費(c)(円)		1,373,000	3,356,000	4,614,400			
人役・職員(人)		0.20	0.50	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
				コストの削減		B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・県事業に併せ実施している、和田堀都市下水路改修工事を早期に完成させ、浸水被害を解消させる。	③取組における課題(Check)	・下流域の今上落の抜本的な改修を千葉県に要望していく。
②H30に実施した取組(Do)	・和田堀都市下水路改修工事を平成30・31年の2か年事業に発注した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・河川改修計画の策定を要望し、確実な対応を千葉県と協議する。